

順正寺報  
2020.7月号

# 林惱煩透

## お盆の法要

左記のとおりお盆の法要をお勤め致します。

七月十六日（木）

午後四時のお座

午後六時のお座

混雑を避けるため一法座

定員三〇名とし二座、お勤め

致します。ご参詣の方は必ず

事前に電話でのご予約下さい。

お盆の期間

七月十三日より十六日

八月十三日より十六日

右記が一般的なお盆の期間となります。しかし土地によって期間の違いがありますので七月中旬より八月いっぱいまで、ご自宅、お寺でのお盆の読経を承ります。

尚、伺うお家が多いのでご希望の方は早めにご連絡ください。（事前連絡なくご参詣頂いても留守の場合門扉を閉めています。）

初盆で無地の提灯を飾られた方は法要当日お寺に収めてください。お焚き上げします  
住職

順正寺電話 03-3996-2064

右は午前9時より午後6時まで

それ以外緊急の場合は

080-5464-9136

いきなり暑くなってきました。如何お過ごしでしょうか。

さて、緊急事態宣言は解除されたものの人間の勝手な事情に関係なくコロナウイルス自体は感染を広げています。そのような状況下で私たちの暮らしも変わらざる得ません。感染を防ぐためには三密を避ける。それにより経済活動が縮小。学校や幼稚園等の休校など。多岐にわたる影響が出ています。

お寺もご承知おきの通り彼岸法要、永代経法要の縮小開催、月例会の中止等順正寺開山以来初めての危機的状況に対応を苦慮しています。この、騒動が起きるまで、人が集える場を創ることを順正寺の根本理念とし、それが実現できるよう努力してまいりました。しかし今、集う事は危険を伴いますので「仏縁を伝える」本質は変わりませんが方法を新たに模索しています。

尤も、いままでも、時代と共に方法や形は変わり続けてきたのですが、この度は急に変更せざるを得なくなり、そこに途惑いが生まれるのでしよう。お盆も、少なくなつたとはいえお盆休みに毎年帰省なさる方も、今年は帰れないかとも思

います。このように習慣は変わらざる得ない事もありますが、先にも書きましたように仏縁という本質は忘れてはいけません。変化するときにはあらゆることに途惑い苦しくなります。そんな時、今皆さんがここに、「私」として生きていられるご縁を忘れてしまうと、それこそ大海に浮かぶ小舟のように寄る辺なく彷徨う事となります。

長くお付き合い頂いている方はご存知の通り私は変わることが面白く、年中ころころと変わっています。ただその変わることを面白がれる根底には縁によって支えられているという事実が私の中にしっかりと根を下ろしているから、なのかもしれません。それは私の表層がどんなに変わっても厳然として揺らぐことはありません

郷里に帰らなくても、ひとが大勢集まらなくとも、この私を育んできたご縁に思いをいたすことはできます。どうかお盆のひと時、ご自宅でも、お寺でも場所は問いません、静かに私を支えて下さるご縁に思いを致しましょう。

心づな——住職

新型コロナウイルス禍の大変な最中、皆様いかがお過ごしでしょうか。わたくしは、相も変わらず、この原稿を書いている今現在は元気に、のほほんと生きております。

気が付くと、今年も半年が過ぎ、お盆の季節を迎えようとしております。お盆は、亡き方とわたしが密に対話をすることで、このわたしがあるのは、一切の生きとし生ける命と一切の事象と過去・現在・未来にわたり密に接触しているお陰であり、そのお陰さまの事実が「わたし」なのであることを確認する法会であります。

色々考えさせられるいま、生活様式を嫌でも変えざるをえず気持ちの持ち方がどうしても定まらず悩ましくいられているいま、そんないまだからこそ、亡き人、仏さまとの密な時間と密な関係を大事に取っていただければと思います。こころに仏さまの教えの涼風を吹き込ませて、心の深呼吸をしてみてください。

さて、少し話が変わります。コロナ繋がりがかな？

このコロナウイルス禍はいろいろなことを気付かせてくれました。

一つ挙げますと、死をこんなに間近に感じたのは初めて、という経験をしました。わたし自身は、法話では、生と死はワンペアであり、常に一緒にある、なんてわかったようなことを言っているのですが、実感としてそれがあるかど問われれば、知識としてあるに過ぎないと言わざるをえません。それでも、花粉症と扁桃腺持ちの私は、毎年春先、マスクをしっかりせず一日花粉に晒され続けると、熱っぽくなるのです。今年も同様でした。そうなる

と、「え？もしかしてコロナ？」と焦りが。マスクをす

る。必死にうがいをする。数十分後には熱っぽさもなくなる。なんだ、やっぱり花粉症だ。手を抜く。また、熱っぽくなる。また焦る。そんなことを数回繰り返してました。どこかに、恐怖を植え付けられてたのでしようね、新型コロナウイルス罹患の。朝目覚めた際、「あ！生きてた」とホッとする経験をしました、2回ほど。夜寝て、朝目が覚めるのが当たり前というわたしにとって、初めて、死というものに脅かされた経験であり、死あつての生、生あつての死、という道理に頷かされました。花粉の時期が過ぎた頃には当たり前に戻ってしまっていました。生きているのが(〜) 皆さんは、このコロナ禍で何か気付かされませんか？

で、宣伝です。7月は3日。8月は休み。9月から12月は5日。午後2時より、グリーンケアの会があります。気楽に話をしてみませんか。愚痴りませんか。悲しみ・喜び・怒り・寂しき・やるせなき・気付き。話をしたり、聞いたりしてみませんか。参加をお待ちしております。

娘（卯美美）はおかげさまで大学二年生になった。

しかし、9月までは基本大学構内には入れないよう授業はオンラインで行われている。教授も慣れない授業で不安なのか課題を山ほど出し、悲鳴を上げている。基本は大学の近くで一人暮らしをしているが、食事の支度や洗濯が面倒になると自宅に帰ってきて、「あー、らくちん」とほざきながら、そのまま数週間居座る。大学の講義を聞くとはなく聞いていると、まあ大概は難しくくてちんぷんかんぷんだが中にはなんて面白いことやってるの！とوراやましいのがある。その一つが「自分が今まで読んだ漫画を一つ選びその漫画が描かれた時代背景や文化を考察せよ」というものだ。漫画なら任せてほしい。何しろ小学校3年までには近所の貸本屋ネオ書房の漫画はすべて読み、未だにKindleで漫画ばかり読んでるどうしようもないジジイなのだ。因みに娘は漫画をほぼ読んだことがない。かろうじて、小学生のころ私の所蔵「まことちゃん」を読んだだけらしい。娘にとってこの課題は「意味わからない」らしい。

### 住職からのお願ひ

今東京では火葬場が不足しています。皆さんご経験のとおり通夜葬儀の日程はお寺の都合より火葬場の都合が優先されてしまいます。また土曜、日曜に行われる一日葬が増え、その為ご法事の時間のお約束を頂いていても変更をお願いすることが有ります。葬儀をお勤めする

ことはそのお家の方にとって一生の一大事です。そこは相身互い、どうか寛恕下さいますようお願い致します

### 定例行事

いずれもご自由にご参加下さい

### 聞法会

毎月2日夜7時から、「御文」のお話、座談会をやっています（1月、8月はお休み）2時間ほど

### グリーンケアの集い「微妙音」

7月3日、八月お休み

9月以降は毎月5日午後2時より2時間ほど

### 白色白光の会（婦人会）

毎月第2木曜午後1時

お経（正信偈）の練習と法話と茶話会

### 仏像なぞり書き、塗り絵「仏像描くぞう」

毎月、第2月曜午後3時と月の最終日曜日午後3時から1時間

参加費三百円（初回のみ別途テキスト代千円）

照久山 順正寺 東京都練馬区石神井町三十七・四

お問い合わせ。午前九時から午後六時までは

03-3996-2064

それ以外の時間緊急の場合

080-5464-9136